



山ろうだより

山形県立山形聾学校
R 6年度 第8号
令和6年11月1日

山聾祭 (10月26日) 大成功！！

テーマ：輝け スマイル😊 山聾祭
～ありがとうの気持ちを込めて～

閉会式では、くす玉が割れ、「スマイル」「ありがとう」があふれた山聾祭の言葉が最後を飾りました。



今年の山聾祭は、卒業生を含め約40名の一般の方が足を運んでくださいました。

開祭式では、一人一人が山聾祭のテーマや「ありがとう」の気持ちを伝えるビデオメッセージが流れました。これは実行委員が昼休みに教室を回って撮影したものです。山聾の子ども達の普段の明るさがあふれていて、皆がスマイル😊になる映像でした。

ステージ発表は、各学部で様々な趣向を凝らしました。それぞれの学年の成長に応じた、またそれぞれの学部らしさが出ている素晴らしい発表だったと思います。一人一人が自分の役割を果たし、目標を意識しながら、生き生きと表現することができました。発表した後の、満足した表情が子ども達のこれまでの頑張りを物語っていました。

お家の方からも多数ご参観いただき、本当にありがとうございました。

◆◆◆山聾祭当日のステージ発表の様子◆◆◆



それぞれが『くだもの』になりきって踊ったりポーズを決めていた幼稚園のくだものちゃんたち♡



「協力し合う小学部！」の元気な発表。小学部の思いが発表や太鼓からとても伝わりました。



劇やプレゼン等を用いて校外学習について、ハプニングを含めて伝えた中学部。一致団結した発表でした。



みんなを楽しませてくれた高等部普通科。クイズもダンスも息がピッタリ。見る人の心もスマイルになりました。



ありがとう



来年開催されるデフリンピックをテーマに発表した高等部専攻科。専攻科だからこそ伝えられる社会に発信する発表をしてくれました。

■編集後記■ 学校運営についてのご質問やご意見があれば、どうぞ学部主任、教頭にお知らせください。(文責：坂井)